



山陽グループは、「社会からの信頼」、「お客様からの信頼」、「人と人との信頼」を確立することを目指す「信頼の経営」を経営理念としています。環境対策の確実な実行や企業倫理の徹底など、社会を構成する一員として求められる責任を果たすことにより、経済性と社会性の両立を図り、株主をはじめ、社員、需要家、取引先、地域等、様々な利害関係者（ステークホルダー）から一層の信頼を得られる企業を目指しています。

社会との共生

企業は、事業経営をしている限り利益を上げなければなりません。それと同時に「社会的な存在」であり、社会を構成する一員としての責任を果たしていかなければなりません。法令順守はもちろん、社会のルールや倫理観に沿った事業活動を行っていくことが必要です。山陽グループでは、社員一人ひとりが「社会との共生」を強く意識して業務に取り組んでおります。

安全と健康の推進

会社は人によって成り立っており、心身の健全な社員・グループ会社員・協力会社員によって、はじめて健全な事業経営が行われると考えます。特に安全は、私たちのような製造業にとって非常に大事な要素です。

そのため、健康管理の充実とともに、職場の安全確保のための取り組みを積極的に推進することで、災害ゼロと心身の健康の実現に取り組んでまいります。

ワーク・ライフバランスの実現

当社では、2028年3月末までに女性社員の比率を25%に引き上げる目標を設定しています。

当社の社員全体に占める女性の割合は、順次上がりつつありますが、これまで女性社員の比率はあまり高くありませんでした。その原因として、女性の採用数が少なかったことに加えて、結婚や出産を機に多くの女性社員が退職したことが挙げられます。

第7次中期連結経営計画(2008年度～2010年度)

1. 経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大

高品質の特殊鋼の安定的な供給を通じ、需要家の競争力向上に貢献するとともに、当社としても利益成長を図り、事業基盤を一層強化して「世界に存在感を示す特殊鋼メーカー」を目指す。

2. 連結経営数値目標

(単位：億円)

	2007年度(実績)	2010年度(計画)	増 減
売上高	1,684	2,000	316
営業利益	139	200	61
経常利益	130	190	60
当期純利益	72	110	38
総資産	1,575	2,100	525
有利子負債	329	430	101
ROS	7.7%	9.5%	1.8%
ROE	7.9%	9.2%	1.3%
単体販売数量	8万トﾝ/月	9万トﾝ/月	1万トﾝ/月